

平成22年度第2回平塚市美術館協議会 会議録

開催日時 平成23年3月9日(水) 14時00分～15時40分
開催場所 平塚市美術館 研修室
出席者 (敬称略)
会長 山梨 俊夫、副会長 滝波 重人
委員 今関 健司、平野恵美子、望月 正大、大橋千賀子
事務局 金子教育長 草薙 館長、小澤副館長、土方館長代理、伊藤主管、
小池学芸員、勝山学芸員、江口学芸員、

傍聴者 なし

会議の概要

- 1 開 会
- 2 教育長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 職員紹介
- 5 議 題

(1) 平成22年度事業報告

I 展覧会、II 作品・資料、III 教育普及、IV その他の事業、V 施設利用者の統計、VI 施設の管理について各担当から報告する。

[質疑応答]

- 委員 ミュージアムコンサートについて、応募者は何人くらいだったのか。また、演奏者に対して日当は支払っているのか。コンサート参加者は有料か無料か。
- 事務局 コンサート応募者は予定者数の倍の申し込みがあり、抽選を行うほど盛況であった。また演奏者に報酬の支払いを行っている。参加者については無料である。
- 委員 選定評価委員の選定基準は。
- 事務局 美術の専門家であることはもちろんであるが、専門が重複しないよう、また美術館活動を熟知している学芸員を選定している。
- 委員 購入作品のうち、曲馬(海老原喜之助)があるが、購入先は。また、寄託作品に岸田劉生の作品が何点かあるが、寄託先は。
- 事務局 曲馬は県内の所有者からの購入であり、寄託作品は市内の所有者からである。
- 委員 夏休み期間中に子供を対象とした企画があれば若い人が美術館に来やすいのでは。
- 事務局 今年度は夏休み期間中にブラティスラヴァ世界絵本原画展を開催した。美術館としても小学生はもちろんだが、中・高生のリピーターを増やしたい。
- 委員 市民アートギャラリーの貸出期間について延長は可能か。
- 事務局 市民アートギャラリーの貸し出しは週単位で行っている。もし1日でも貸出を延長すると次の団体に迷惑がかかってしまう。また、美術館としては、混雑が予想される場合には、合同庁舎駐車場を借りている。そして、子供たちが大勢で来館した時には、荷物を置く場所の確保をするなどの対応を行っている。

(2) 平成23年度事業(案)

I 展覧会、II 教育普及・その他の活動について各担当から報告する。

(3) その他

- ・美術館空調工事による休館について
- ・企画展アンケート集計結果について

[質疑応答]

- 委員 小中学校教員向けワークショップについて定員はあるのか。
- 事務局 定員は20名である。毎年実施しているワークショップである。先生方が学校で生徒に教えられるような講座となっている。定員を増やすこととなると講師との相談が必要となる。
- 委員 来館者数にこだわるとプレッシャーがかかる。数字を気にせず「良い展覧会」を行ったほうが長い目で見た場合には良いのでは。
- 事務局 前年度夏休み期間中に「いわさきちひろ展」を開催したが、同時開催で「山本直彰展」を行った。全国的に知名度の高い「いわさきちひろ展」は観覧者数が増えることは予想されたが、結果として「山本直彰展」にも多くの観覧者が訪れた。

- 委員 ここ数年、美術館の展覧会はバランスが良く工夫がされている。
- 委員 美術館を地域の人が育てていくという意味で観覧料をもっと上げてもいいのでは。
- 事務局 数年前までは企画展600円で料金設定していたが、現在は800円から900円で料金を設定している。これ以上の料金を設定すると「高い」といったイメージが定着してしまう恐れがあるため避けている。美術館としてはなるべく多くの人に展覧会を見てもらうことが重要と考えている。また、友の会は会員費無料であるが有料化を検討中である。
- 委員 展覧会の価値は、常に「いいもの」を展示しているといった風評が広がればいいのでは
- 事務局 美術館としては1人でも多くの市民が美術館に足を運んでもらうのが目的である。
- 委員 自分の所属している団体に演奏会等いくつかの事業を持っているが、参加した子供たちは初めの頃マナーが悪かったが、何回か参加していくうちにマナーが良くなった。美術館も子供たちが繰り返し来館することにより観覧のマナーを学べる場として重要である。
- 委員 画家たちの二十歳の原点について、描かれた背景（時代）というものがあると思うが期待している。若い人へのメッセージとして、各時代皆悩んでいたことを伝えたい。
- 事務局 各作家の「ことば」をパネルにして掲出する。
- 委員 伊東深水展に期待している。美術館をもっとPRしたいと考えている。
- 委員 市外からの人を市内案内する時に、平塚市美術館を案内できることがありがたい。
- 委員 美術館で行った展覧会のアンケートについて、回答から広報ひらつかやタウン誌の割合が少ないのは。
- 事務局 広報ひらつかは配布が市内に限定されており、今回は市外からの来館者が多かったということも要因である。

6 館長挨拶

7 閉会

以上